

第3回山陽小野田市公立大学法人評価委員会会議議事録

平成27年度第3回山陽小野田市公立大学法人評価委員会議事録

日 時 平成28年2月9日(火) 18時から

場 所 山陽小野田市役所 3階 議会会議室2

出席者 委 員 山本(普)委員長、河口委員、河野委員、林委員、平野委員、山本(克)委員

事務局 大田成長戦略室長、大谷成長戦略室副室長、芳司総合政策部長

議題1

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学の中期目標(案)について【資料1-1、1-2】

事務局 前回会議での意見を受けて事務局において修正をし、庁議において協議を行い、その結果を【資料1-2】にまとめた。主だった項目(2ページ10番、3ページ14番、15番、18番、4ページ19番、5ページ25番、28番)について説明する。修正した結果である【資料1-1】を3月議会の議案として提出する予定である。

委 員 作成の過程で大学と協議したのか。

事務局 地方独立行政法人法の規定で、大学の意見を聴き、作成することとなっている。

委 員 作成の主体は「市」である。大学の意見ばかりを反映している目標となっていないか。

事務局 作成に当たっては、大学と協議や意見交換を重ね、大学の考え等を理解する中で、市が主体となって大学に求める目標を作成した。

委 員 事務局の説明どおり、大学の意見を聴き、尊重するが、大学から出た意見をなんでも聴いて作成したわけではないと思う

第3回山陽小野田市公立大学法人評価委員会会議議事録

が。

委員 もっと市立大学としての特色を出す必要があるのではないか。どの大学にも当てはまるような目標ではなく、山陽小野田市の大学としての特色がある中期目標とした方が良いのではないか。

事務局 1 ページ 4 番に中期目標において示すべき内容を記載しているが、この中期目標においてすべてを記載することは出来ない。今後、大学が中期目標を達成するための中期計画を作成されるので、その中で反映させていくことになる。中期計画については中期目標同様、委員の意見を聴くことになる。

委員 大学の意見を聴くことはいいが、中期目標はあくまでも市が主体となって作成し、大学は中期目標達成のためにできる範囲で中期計画を作成すればいいのでは。最初から大学の意見を反映させ過ぎるのはどうか。

委員 山陽小野田市の特色が盛り込まれていないのではないか。このままでは、どうやって山陽小野田市の特色を中期計画に反映させることができるのか。山陽小野田市が市立大学を設置する展望が見える目標となることが大切である。山陽小野田市の特色を生かし、地域に貢献できる大学となることを市民は求めているのではないか。市民が求めているものを目標に盛り込むことが必要ではないか。

委員 市民が大学に求めるものはいろいろあり、地域貢献にもいろいろな形がある。大学は教育研究の場であり、教育研究と地域貢献が必ずしもリンクしているとは限らないし、リンクする必要もない。教育研究の分野を含め、地域貢献できるやり方をいろいろと考えていくことが大切ではないか。地域貢献としての役割をあまり強く求めると逆に大学の教育研究に負担をかけることになるのではないか。

委員 市立大学ということで地域貢献の役割を求めることは大切であるが、地域貢献という言葉があまり強くなるのはどうか。

第3回山陽小野田市公立大学法人評価委員会会議議事録

結果的に地域貢献できていればいいのではないか。大学が存在することによって地域、そして、経済が活性化することも地域貢献である。

- 委員 項目の番号は重要な順（優先順位）となっているのか。
- 事務局 優先順位というわけではない。
- 委員 教育の質の「保証」の表記はこれでいいのか。また、経費の「抑制」は「効率化」、「合理化」の方がよいのではないか。
- 事務局 教育の質の「保証」は、違和感があるかもしれないが、文部科学省においても使用している表現である。経費の「抑制」は、厳しい表現だが、公立大学として適正な運営をしていくことを意識してもらうよう記載している。
- 事務局 現段階においてもまだいろいろと意見が出ているが、3月議会に議案として提出しなければならない。さらなる変更が必要と考えられているのか、又は、この中期目標は認めるが、このような意見が委員から出たということ記録として残すということによいのか。
- 委員 いろいろと意見はあるが、この中期目標を否定するものではなく、どのような意見が出たかということ議事録としてしっかりと残していくということによろしいか。
- 委員 異議なし。
- 委員 それでは、各委員の意見をお聴きします。
- 委員 先程、説明していただき、一定の理解はするが、「教育の質の保証」と「経費の抑制」についてはもっと適切な表現があると思う。別の表現が望ましいと考える。
- 委員 市民に大学の方向性や位置付けが十分に伝わるような目標にすることが必要ではないか。具体性は中期計画で表現すればよく、中期目標で求めなくても良い。
- 委員 山陽小野田市が設置する市立大学として、山陽小野田市の特色が入った、地域に貢献する大学であるということについて、市民に分かりやすく表現したものが良い。

第3回山陽小野田市公立大学法人評価委員会会議議事録

- 委員 よく出来ているのではないか。教育研究の分野をレベルアップし、地域貢献をすればよいのではないか。直接的な地域貢献という手法もあるが、大学は高等教育機関であるということから、教育研究において間接的に地域貢献するという手法もあるのではないか。中期目標ではあまり具体性を持たせずに、具体的なものは中期計画で実態に即したものをに入れていけばよいのではないか。
- 委員 「市民」「住民」「地域」など表現がアバウトなものがある。市立大学ができて良かったと市民が思えるような、地域貢献できる大学となるような目標、そして、計画となるようにして欲しい。
- 委員 6年後の大学のイメージがもっと感じることが出来ればいいと思うが、このたびの修正でかなり良くなったのではないかなと思う。
- 事務局 あまり馴染みのない語句等があるので、用語解説を掲載していく。
- 委員 委員の意見を議事録に残すこととし、中期目標に関する審議はこれで終了する。

議題2

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学業務方法書(案)について【資料2-1、2-2、2-3】

- 事務局 業務方法書は、公立大学法人設立後に開催する評価委員会において審議していただくことになるが、市において業務方法書に記載すべき事項を定めた規則(案)【資料2-3】を作成し、それに基づき、評価委員会で審議していただく業務方法書(案)【資料2-2】についても作成したので、あらかじめ目を通していただき、次回の会議の参考にしていただきたい。内容については、他の公立大学が作成した業務方法書と同様となっている。

第3回山陽小野田市公立大学法人評価委員会会議議事録

委員 評価委員会の意見を聴くというのは、【資料2-2】の大学が作成する業務方法書についてということでしょうか。

事務局 そのとおりです。

委員 評価委員会としての意見は、評価委員会としてまとめた意見を議決しなければならないのか。

事務局 評価委員会としての意見として取りまとめたもの（集約したもの。議決したもの）を出していただくのか、又は、委員から出た意見を聴き、集約せずにそれをそのまま出していくという方法がある。そのどちらもあると考えている。意見を無理に一つに集約するのではなく、多様な意見をお聴きしたいと考えている。

委員 これまで多様な意見が出ている。これは、委員のレベルの差（大学のことをよく知っている委員、そうでない委員）があるのも一つの要因であると考えている。多様な意見を集約して評価委員会の総意として意見をまとめるのは難しいと考える。

事務局 評価委員会としてまとめた意見を出すのか、多様な意見を出すのか、ケースバイケースになるものと考えている。

委員 評価委員会で出た意見をそのまま出した方が良いのではないのか。その意見を勘案して決定されればよいのではないのか。重要な案件や評価委員会としての意見を求められる案件については、採決するということがいいのではないのか。

委員 中期計画を作成される際に、中期目標を作成する過程において、評価委員会からこのような意見が出たということを知りたいようにしていただきたい。

事務局 そのようにする。

委員 市立大学として最初の年になるので、行きたい、魅力ある大学となるよう、期待の持てる目標となった方が良い。

委員 そのことも大切だと思うが、10年、20年先の長い目で見ることも必要。最初から過大な目標を掲げるのは逆効果になることも

第3回山陽小野田市公立大学法人評価委員会会議議事録

考えられる。

その他1

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学役員の報酬等の支給基準(案)について【参考資料①】

事務局 前日も説明したが、前回の資料では他大学に比べて理事長等の給料の額が低いものとなっていた。本市よりも低い大学があったので、その大学を追加した。

委員 現在、市長等の特別職の給料はカットされていると思うが、大学の役員についてはどうするのか。

事務局 現段階では、カットする考えはない。

委員 理事長等は大学の運営・経営に責任があると思うが、責任に見合う給料となっていなければいけないのではないのか。

事務局 役員の報酬の基準は、大学が作成することになるので、公立大学設立後、この基準が適切かどうか審議していただくことになる。審議の結果、高すぎる、又は、低すぎるということになれば市長に意見を申し出ることになる。

委員 公立大学との比較しかないが、私立大学や東京理科大学の比較した資料はないのか。

事務局 公立大学となるので、私立大学との比較は相応しくない。

委員 他の公立大学との比較だけでなく、大学の中での比較も必要であるので、大学の予算の資料もあった方がよい。

事務局 準備することとする。

その他2

山口東京理科大学への現地見学について【参考資料②】

事務局 3月1日の午後が現地見学を希望される委員全員の都合が良いので、この日で大学と調整したい。時間は午後1時30分から午後2時の間で始めたいと思うが、詳細については、後日、お知らせする。

第3回山陽小野田市公立大学法人評価委員会会議議事録

委員 了解した。

※ 山口東京理科大学への現地視察については、3月1日(火)の14時から実施し、委員5人が出席。学長から大学の概要について説明を受け、質疑応答をした後、大学職員の案内により校内を視察。